

「パラフィン包埋組織での歯・顎骨の標本作製受託中止のご案内」

お客様各位

パラフィン包埋での歯・顎骨の受託をして参りましたが、組織の性質もあり依頼された内容での標本作製が困難となる事象が散見されておりました。

誠に申し訳ございませんが、現状では皆様からのご期待に沿える標本をご提供できないと判断し、動物種に関わらずパラフィン包埋組織での歯・顎骨の標本作製受託を中止させて頂く事となりましたことご報告申し上げます。

つきましては、代替え方法として下記作製方法をご提案させていただきます。

<受託サービス；樹脂研磨での標本作製>

■樹脂研磨標本の特徴と受託可能検体材料

- 1) 樹脂の特徴としては、パラフィンより硬度が高く、組織の欠損が無く再現性のある標本をご提供できます。
- 2) イヌ、ブタ、ヒト検体のような中動物以上の検体が対象となります。
しかし、中動物以上の検体の場合でも、目的箇所が小さい場合は受託不可させて頂く場合がございますので、事前に材料の大きさと標本作製位置等を図示、または写真にて問合せのほどお願い申し上げます。
- 3) 非脱灰検体での標本作製が可能です。特にインプラント等の人工物が埋植された検体等に適した作製方法となります。
- 4) 切片厚は 100 μ m ~ 120 μ m となります。
※切片が厚い為、組織構造の観察は可能ですが、細胞単位での観察には不向きです。
- 5) 染色メニューは下記染色が可能です。
 - ① Cole' s HE 染色（基本構造の観察）
 - ② エラスチカ・HE 染色（弾性線維の観察）
 - ③ ビラネバゴールドナー染色（類骨の観察）
 - ④ トルイジン青染色（軟骨基質の観察）
 - ⑤ コッサ染色（石灰化、骨基質の観察）

詳しくは、以下のアドレスにアクセス頂くか、弊社 HP の問合せよりお問合せください。

<http://www.hslabo.co.jp/hard-tissue/index.html>

<http://www.hslabo.co.jp/inquiry/>

2018年3月14日

株式会社新組織科学研究所
